

東青
みどりの通信 No.106
 平成29年
 12月20日

〒030-0861
 青森市長島二丁目10番3号 青森フコク生命ビル6F
 TEL 017-734-9990 FAX 017-734-8305
 E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

東青地域県民局地域農林水産部
 ■ 農業普及振興室 ■

株式会社松山ハーブ農園が東青地域初の「グローバルGAP」認証を取得、意欲溢れる「攻めの農林水産業賞」優秀賞も受賞！

ハーブやにんにくの栽培、黒にんにくの製造販売等を行っている青森市合子沢の株式会社 松山ハーブ農園（代表取締役 松山法明さん）が、今年8月に農産物の安全管理に関する国際規格である「グローバルGAP」認証をにんにく生産を対象に東青地域で初めて取得しました。

きっかけは黒にんにく輸出の際に取引先に認証取得を求められたため、取得に向け平成28年度青森県認証GAP取得産地育成推進事業を活用し、講習受講や環境整備等の準備を進めてきました。

認証取得には食品、環境、労働保全、農場経営管理など200以上の項目をクリアする必要があるため、容易ではなかったとのことですが、取得後は首都圏の飲食業者からの問合せが増えるなど、すでに効果を実感しているそうです。

また、松山ハーブ農園は平成29年11月13日（月）、青森国際ホテルで開催された「攻めの農林水産業」推進大会において、黒にんにくの加工販売や収穫体験型農家レストランの開園などの6次産業化、農作業等での福祉施設との連携、グローバルGAP認証取得などが高く評価され、「意欲溢れる攻めの農林水産業賞」優秀賞を受賞しました。この賞は、「攻め」の姿勢で新たな試み等や創意工夫で収益力を高め、地域の活性化などに貢献している生産者等を表彰しているもので、平成19年度から行っています。

なお、県内でのグローバルGAP認証取得件数は松山ハーブ農園を含めて11件となっています（平成29年11月末現在）。



グローバルGAP認証取得を
 小野寺晃彦青森市長へ報告（平成29年9月20日）



意欲溢れる攻めの農林水産業賞の優秀賞を受賞した
 松山法明代表取締役（平成29年11月13日）

東青地域重要家畜伝染病防疫演習を実施しました

当県民局では、高病原性鳥インフルエンザを二度と発生させないよう、養鶏場等の指導に万全を期しています。

また、万が一発生した場合は、迅速・的確に対応し、早期に沈静化を図る必要があるため、ペストコントロール協会と警備業協会も参加して、平成29年10月31日に、青森家畜保健衛生所において防疫演習を実施しました。

初めに、車両消毒地点、発生農場に設ける現場事務所及び作業員が発着する集合施設での作業の流れについて演習し、明らかとなった課題と対策を共有しました。

次に、防護服の着脱、車両消毒に使う動力噴霧器の組み立てと消毒作業などを実演しました。

この演習により、高病原性鳥インフルエンザへの防疫体制が強化され、万が一の場合に備えていくこととしています。



東青地域県民局地域農林水産部長あいさつ



集合施設での防護服の着脱

原料原産地表示制度について

～直売所等で加工食品を販売する皆さまへ～

平成29年9月1日に食品表示基準が改正され、「全ての加工食品について、1番多い原材料の原産地を表示する」ことが義務化されました。

これは、消費者が原材料の産地を見て商品を選びやすくするための措置ですが、生産者にとっては、産地名を適正に表示することで、他の商品と差別化を図ることが可能になります。

2022年3月までが移行期間となっていますが、包材やラベルを作成する際に表示内容を原料原産地も表示するよう更新するようにしましょう。

〈表示のポイント〉

- 表示対象：全ての加工食品（輸入品を除く）
- 表示内容：製品に占める重量割合が最も大きい原材料の産地
- 移行期間：2022年（平成34年）3月31日まで

耕作できなくなった農地は農林業支援センターへお貸しください！

公益社団法人あおもり農林業支援センターでは耕作出来なくなった農地を借り入れ、規模拡大を目指す担い手に貸し付ける農地中間管理事業を行っています。

農地の出し手は**一定の条件を満たせば「機構集積協力金」**を受け取ることが出来ます。

また、農地の受け手にとっても、複数の出し手と個別に貸借契約を結ぶ手間を省き、支援センターとだけ契約し賃料を支払うので、**わずらわしい契約と支払手続きを軽減**できます。

農地を貸したい方や借りたい方は、**市町村又は農業委員会**に御相談ください。

なお、機構集積協力金について詳しく知りたい方は、**市町村、農業委員会又は県民局農業普及振興室**へお問い合わせください。

東青地域、果樹の楽園化が進んでいます

当農業普及振興室では、地域の果樹観光を活性化するため「東青地域果樹の楽園づくり推進事業」に昨年度から取り組んでいます。2年目の今年は、昨年立ち上げた「東青果樹観光ネットワークづくり研究会」のネットワーク強化と満足度の高い受入体制の整備に向けて、研究会員の園地視察及び夏と秋の2回にわたってプロジェクト活動を行いました。

夏プロジェクト：「あおり果樹の楽園おいしいスタンプラリー」

7月～8月31日まで、研究会員の7園地をまわるスタンプラリーを実施しました。各園地ではさくらんぼやブルーベリー、ブラックベリーの収穫体験など、それぞれの園地でたくさんのお客様に楽しんでいただきました。

今年から研究会に参加している「三内縄文ベリーランド」では、全国的にも珍しいブラックベリーの収穫体験ができるということもあり、たくさんのお客様が訪れました。そのほかの園地にも多くのお客様が訪れ、新たなファンの獲得及び「あおり果樹の楽園」のPRにつながりました。

スタンプラリー開催中には研究会メンバーが集まり、それぞれの園地を視察して回りました。

特徴が異なるそれぞれの園地を実際に見て、情報交換することで互いに刺激しあい、おもてなし方法の改善や観光に適した園内環境の整備など受入体制のレベルアップにつながりました。



初めて見るブラックベリー園に興味津々

秋プロジェクト：「りんご畑ピクニック」

りんごの収穫が本格化する10月には、青森市田茂木野の「青森りんごの里」、「青森観光りんご園」の2園地において、「りんご畑ピクニック」を開催しました。

りんごの収穫体験を始め、園地内でのランチと地元産りんごで作ったシードルのテイasting、弘前市在住の津軽三味線奏者イアン・ハミルトンさんの演奏などにより、参加者の皆様に楽しんでいただきました。

また、青森港に寄港したクルーズ客船の乗客に対してPRした結果、19名の外国人を誘客することができました。研究会員は皆、初めての経験のため、英語での対応やおもてなし方に苦戦しましたが、外国人はりんご園での特別なひとときを楽しんで、満足したようです。



りんごのもぎ方を実演！

新4Hクラブ員紹介

4Hクラブに新しい仲間が加わりました！

柴田涼平です！
兼業農家で、週末は青森市内で米作りを頑張っています。
よろしく
お願いします！



「地域の担い手は地域が育てる」仕組みづくりに向けて

県では本格的な人口減少社会を迎える中、平成24年度から集落などの「地域」を1つの社会として捉え、地域全体で経済や暮らしを支える農山漁村の「地域経営」の仕組みづくりに取り組んできました。

そして、平成29年度からは、各市町村のほか、地域経営の核となる集落営農組織や個別経営体など（以下、「地域経営体」）への支援も行っています。今年度実施している内容についてご紹介します。

連携・協働の場づくり、地域課題の解消に向けた取組

～取組主体：各市町村の担い手育成総合支援協議会、農業再生協議会～

■青森市担い手育成総合支援協議会

ミニトマトを中心に青森市産トマト・ミニトマトの生産拡大に向けた意見交換や事例研修を開催しています。

■平内町担い手育成総合支援協議会

ハタケシメジを活用した加工品や地域特産品の販路拡大に向けたパッケージデザイン研修会及び県外での商談のほか、地域活動の先進事例について視察研修を行いました。

■今別町農業再生協議会

今別町の農林水産物や加工品等のPRと販売力強化のために軽トラ市を開催しました。また、若手農漁業者による担い手組織作りに向けた研修・交流会の開催を予定しています。

■蓬田村担い手育成総合支援協議会

転作作物をソバからたまねぎへ転換し、農家所得の向上を図るための検討会を開催したほか、栽培農家の定着に向けて種子代を助成します。

■外ヶ浜町担い手育成総合支援協議会

各集落ごとに地域の現状や課題を取り上げ、取組方向や経営体の育成に関する意見交換会を開催します。

「地域経営体」がレベルアップするために必要な取組

～取組主体：「地域経営」の核となる集落営農法人等～

■青森市：農事組合法人 北後潟営農組合

規模拡大に伴い、作業の共同化・効率化を図るためにトラクターを導入しました。また、冬期間にそばの高付加価値化に取り組んでいる先進事例を視察するほか、法人経営の強化に向けた講習会や複合経営に取り組んでいる集落営農法人の視察を実施します。

■外ヶ浜町：農事組合法人 大平ファーム

ほ場整備した農地を集積して規模拡大を図るために必要な、農業用施設（水稻育苗ハウス）を整備したほか、隣接する集落と連携した生産体制について検討しています。また、法人の経営力強化に向けた法人経営・労務等に関する研修会を開催します。

県では、今後も「地域の担い手は地域で育てる」仕組みづくりを一層推進していくこととしています。「地域経営」の取組や事業内容について質問等がありましたら、お気軽にご相談ください。



ミニトマト生産の先進事例を視察
(青森市)



パッケージデザインについて
研修（平内町）



初めて開催した軽トラ市
(今別町)